

JJLのプレカット階段施工の手引き (標準仕様)

'95・11~

本施工の手引は標準仕様にもとづいて説明しています。現場打合せなどによる確認により、標準仕様から変更されている場合もあります。変更されている場合は、変更箇所をよく確認のうえ施工してください。

安全上のご注意

設置工事の前に、必ずこの「安全確保のための手引」をよくお読みの上、正しく設置してください。

●表示内容を守らず誤った工事をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。

注意 この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し説明しています。

禁止 この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

強制 この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

- 工事完了後、各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。
- 本書とは別にお客様用「安全確保のための手引」が製品に同梱されておりますので、紛失や汚れのないように保管し工事完了後確実にお客様にお渡しください。

注意

●踏板用滑り止め部材を使用する場合は、しっかりと固定してください。

強制 はがれかけは転倒、転落などによりケガをする恐れがあります。

強制 明るさが不足したり力ゲがでかたりすると踏みはずしてケガをする恐れがあります。

強制 変形・破損によりケガをする恐れがあります。

●階段材および親柱、手すり子、手すりなどはくつきや、脱落のないよう正しく施工を行ないしっかりと固定してください。

強制 転落事故などにより、ケガをする恐れがあります。

強制 転落事故などにより、ケガをする恐れがあります。

禁止 人とぶつかって転倒、転落してケガをする恐れがあります。

●手すり取付高さは800mm程度としてください。また子供用手すりを取付ける場合は高さを600~650mm程度としてください。

強制 転落事故などにより、ケガをする恐れがあります。

強制 手すりが壁面に取付ける場合、手すり受け(フック)の取付間隔は900mm以下としてください。また下地の間柱にしっかりと固定してください。間柱のないところで固定する時は必ず下地に補強材を入れてください。

強制 手すり取付高さが高すぎると転倒・転落し、ケガをする恐れがあります。

禁止 強度不足のため破損、転倒しケガをする恐れがあります。

強制 手すりが破損または脱落し、ケガをする恐れがあります。

その他のご注意

●本製品は室内専用で設計しておりますので屋外では設置しないでください。

禁止 養生テープ

●常時水のかかるところや、湿気の多いところでの設置は避けてください。

禁止 養生テープ

●店舗など、土足で使用する場所への設置は避けてください。

禁止 養生テープ

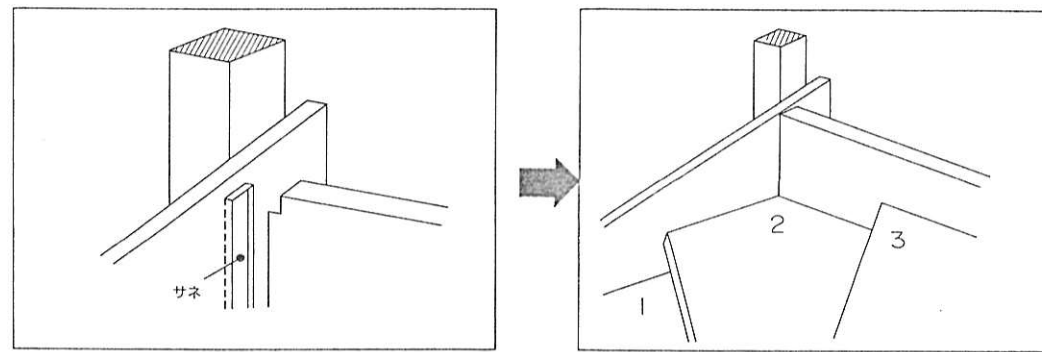
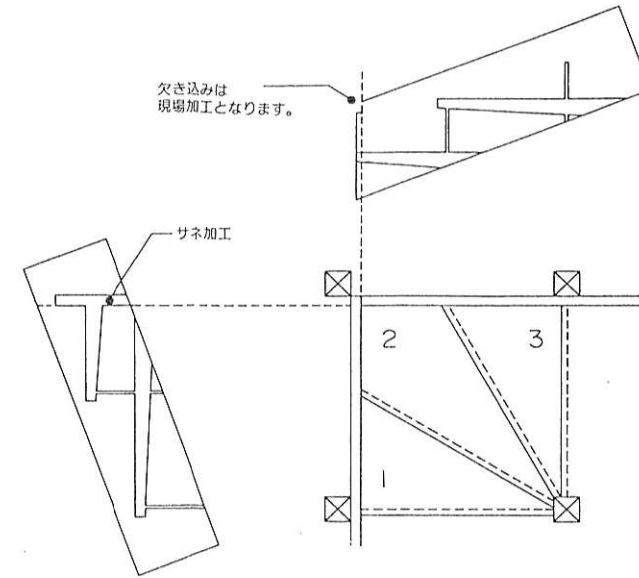
●養生の際、下記の点に注意してください。
階段の施工完了後は先ずゴミ、ホコリをよく除去してから表面を養生してください。パルの養生シート、養生テープをご使用いただくようおすすめ致します。布製ガムテープ、広幅クラフト粘着テープ、ビニールテープなどは粘着力が強すぎ、表面材の損傷や変色の恐れがありますので絶対に使用しないでください。脚立を使用する場合は合板、ボードなどの丈夫な板で保護してください。また、貼った養生テープをはがす時はゆっくりとはがしてください。急激にはがすと、表面材を損傷する恐れがあります。

廻り側板の接続

廻り階段で廻り側板は、けこみ板が柱の芯で廻るよう加工されています。

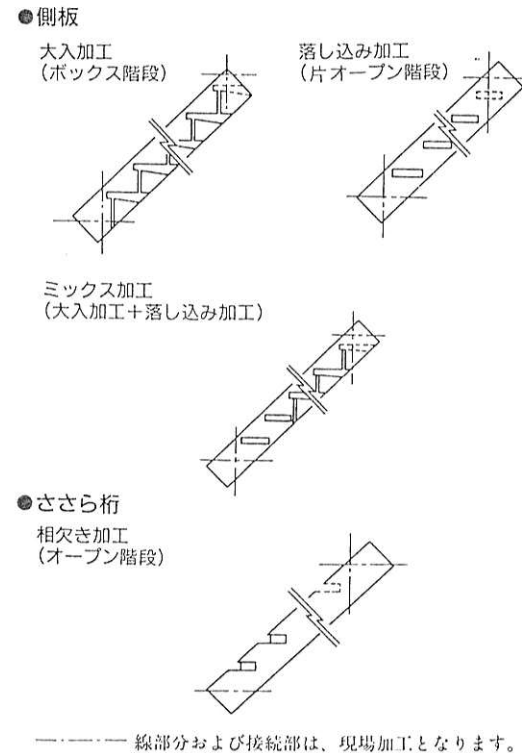
また、廻り側板には、サネ加工がしてありますので、下図のようにサネを合わせれば、接続位置が決まります。

ご注意
あらかじめ現場打合せなどによる確認により、上記仕様と異なることもあります。



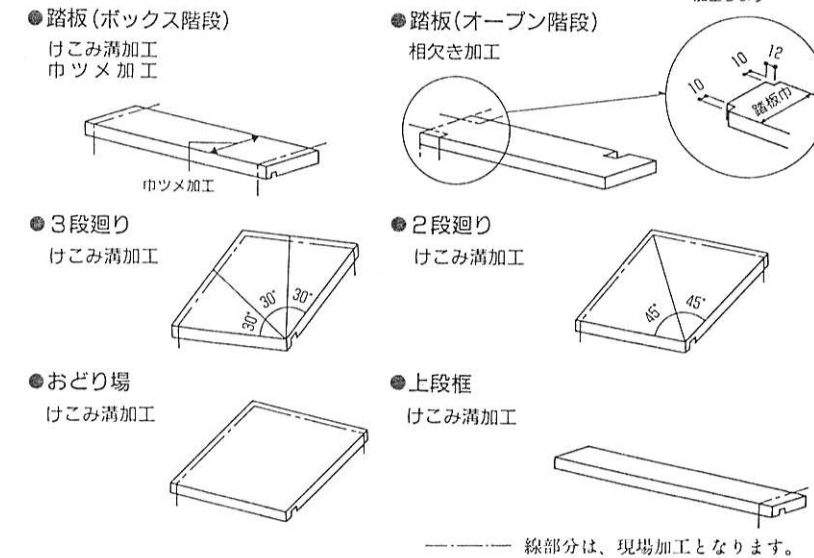
各部材の加工

側板・ささら桁の加工



踏板・踊場の加工

踏板・踊場は、下図のようにプレカットされています。



お問い合わせはお買い上げいただいた販売店もしくは最寄りの弊社営業所までお願い致します。

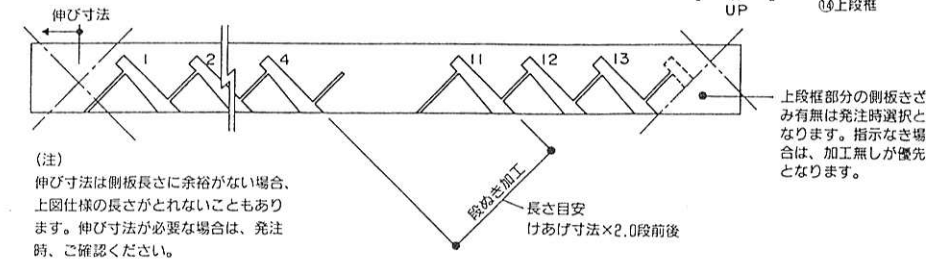
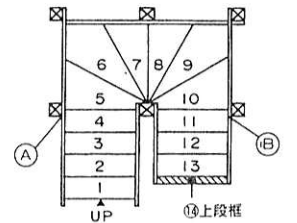
株式会社 JJL

本社 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-3 日本大昭和板紙ビル
Tel 03-5256-9801

廻り階段用直側板の加工

右図のような6段廻りなどの場合、1~4段の直側板と11~14段の直側板は、下図のように、段ぬき加工されています。(標準仕様)

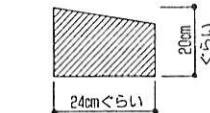
側板接点④、⑤は下記要領で求めてカットしてください。



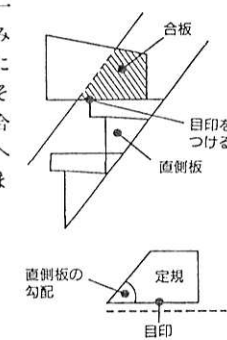
(側板接点の求め方)

直側板と廻り側板の接続点(④⑤)は以下の方法で決めます。この接続点は、直側板と廻り側板の上端の交点となります。

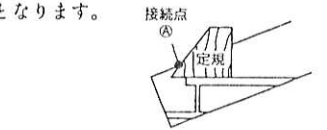
① 適当な大きさの合板を用意し、一边をまっすぐに切ります。



② まっすぐに切った合板の一边を直側板の踏板吹き込み部上辺と平行になるように合わせ、勾配(上端部)にそって、右図のように①の合板をカットし、段鼻位置へ目印をつけ定規をつくります。



③ 接続する廻り側板の段鼻位置に定規の目印が合うようにセットします。定規と廻り側板上端との交点が接続点④となります。

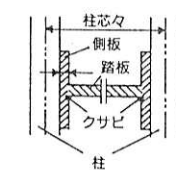


④ 求められた a 寸法を直側板でも求めます。
※ b 寸法についても同じ原理で接続点を求めてください。

踏板の取付

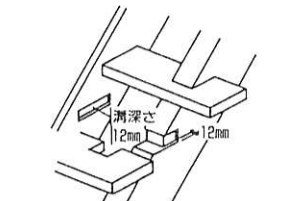
●ボックス階段

踏板及びけこみ板を施工する場合は、必ずあて木をあてて木工用ボンドを塗布し差し込んでください。また、クサビ及びけこみ板は釘止めもおこなってください。



●オープン階段

踏板を施工する場合は、必ずあて木をあてて、木工用ボンドを塗布し差し込んでください。



----- 線部分および接続部は、現場加工となります。

----- 線部分は、現場加工となります。